

大和市との協働事業

「障がい者と地域住民とのふれあい体験活動」

日時：2022（令和4）年12月15日（水） 9：40～10：25

対象：中央林間小学校 4学年4クラス

講師：森 朋美（神奈川県腎友会副会長） 吉岡 寿夫（理事）
岡部 泰成（理事） 大久保 正男（理事）

この事業の目的は、「地域社会の共助・共生の実現」を目指す事業です。

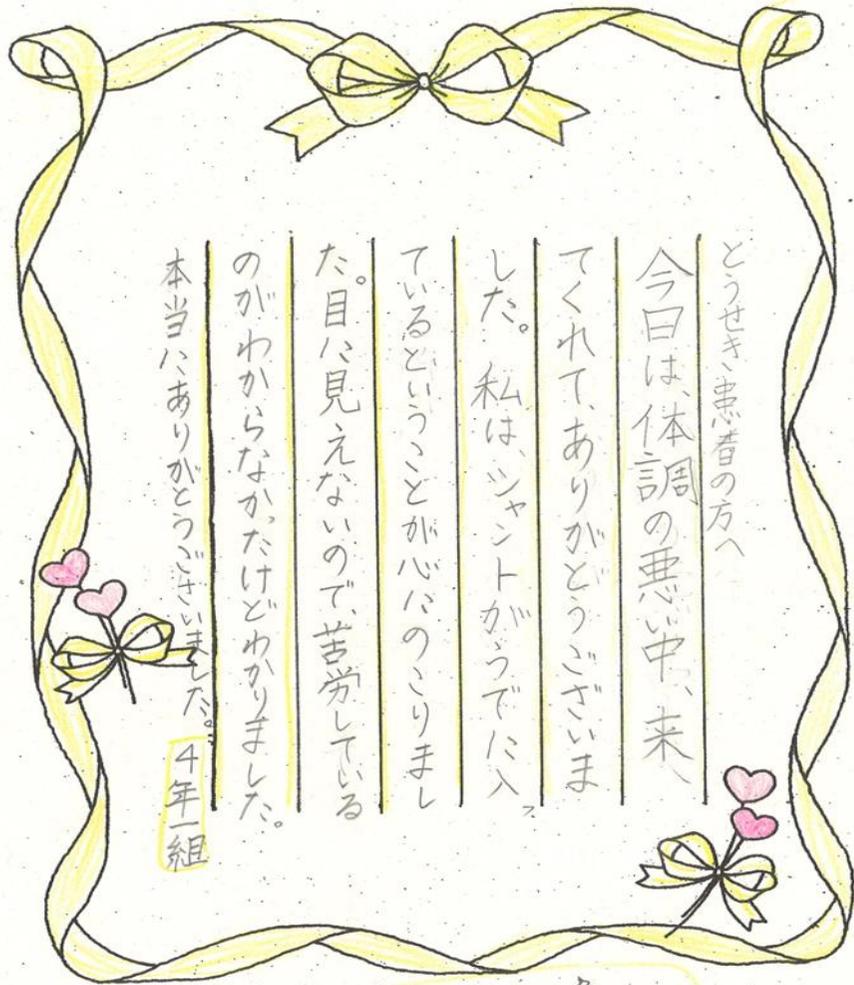
地域の方々に透析者の事を知っていただくためには長期で取り組んでいく課題であると考え、小・中学生を対象に定期的に実施しています。

この授業を通して透析者をはじめ、身体に障がいのある方、高齢者の方など、いわゆる社会的弱者への思いやりや心遣いなどを理解していただいています。

この日は4年生の2時間目の授業として4クラスにそれぞれ講師の方が入り自作の資料を使って子供たちにわかりやすくお話をさせていただきました。

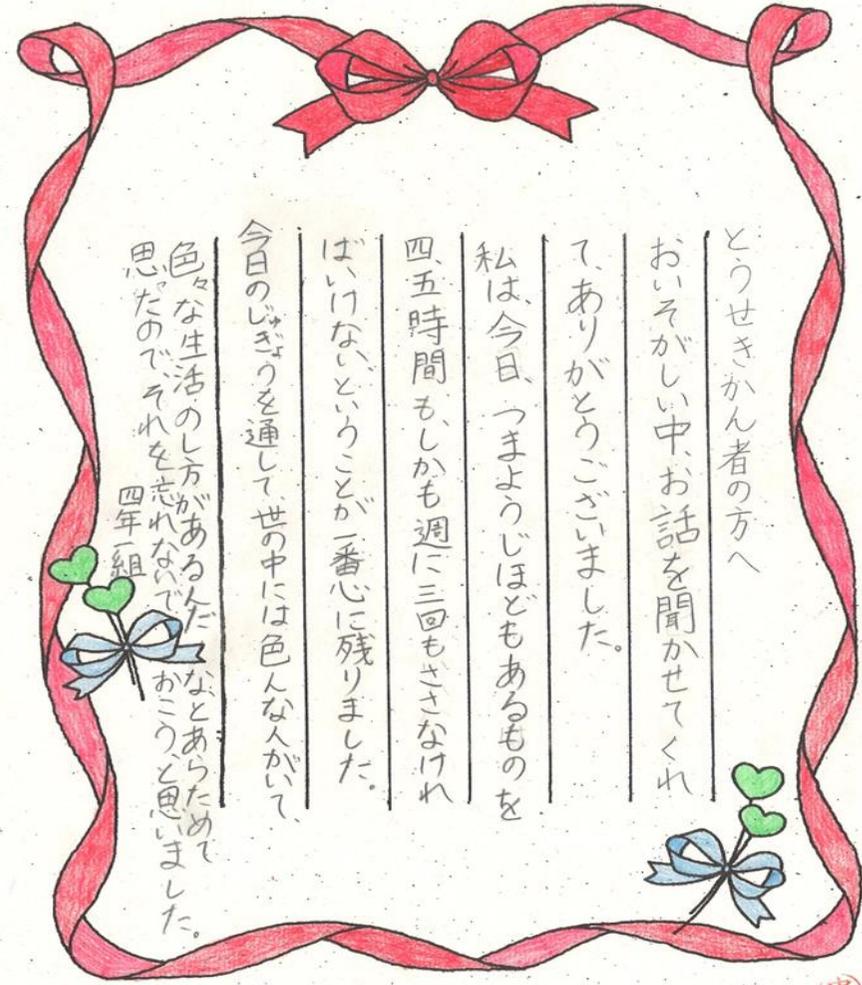
初めて聞く話に真剣に耳を傾けていて、たくさんの質問もしてくれました。

その子供たちから届いた感想文の一部をご紹介します。



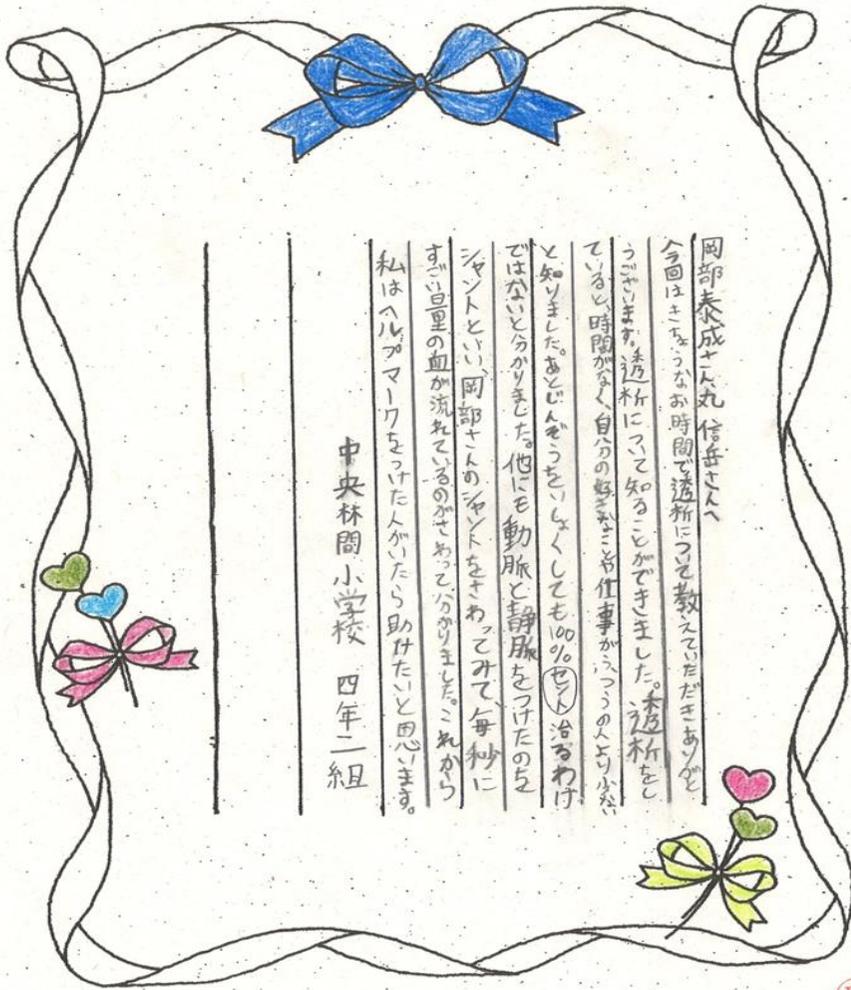
とうせき、患者の方へ
今日は、体調の悪い中、来
てくれて、ありがとうございま
した。私は、シャツがうでに入
っているということが心バのこりまし
た。目々見えないので、苦勞している
のがわからなかつたけどわかりました。
本当にありがとうございました。
4年1組

国語の勉強
がんばります!



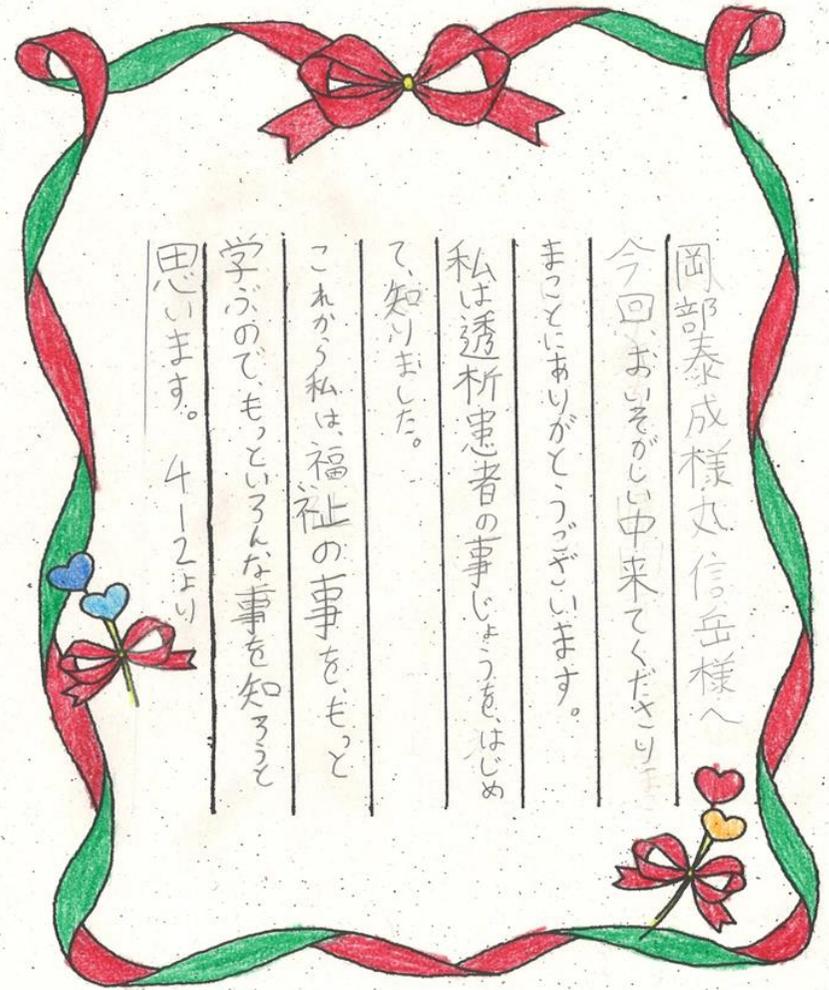
とうせき、かん者の方へ
おいそがしい中、お話を聞かせてくれ
て、ありがとうございました。
私は、今日、つまようじほどもあるものを
四五時間も、しかも週に三回もささなけれ
ば、いけないということが一番心に残りました。
今日のじきゅうを通して、世の中には色んな人がいて、
色々な生活の仕方があるんだなとあらためて
思ったので、それを忘れないうで、おこりと思いました。
4年1組





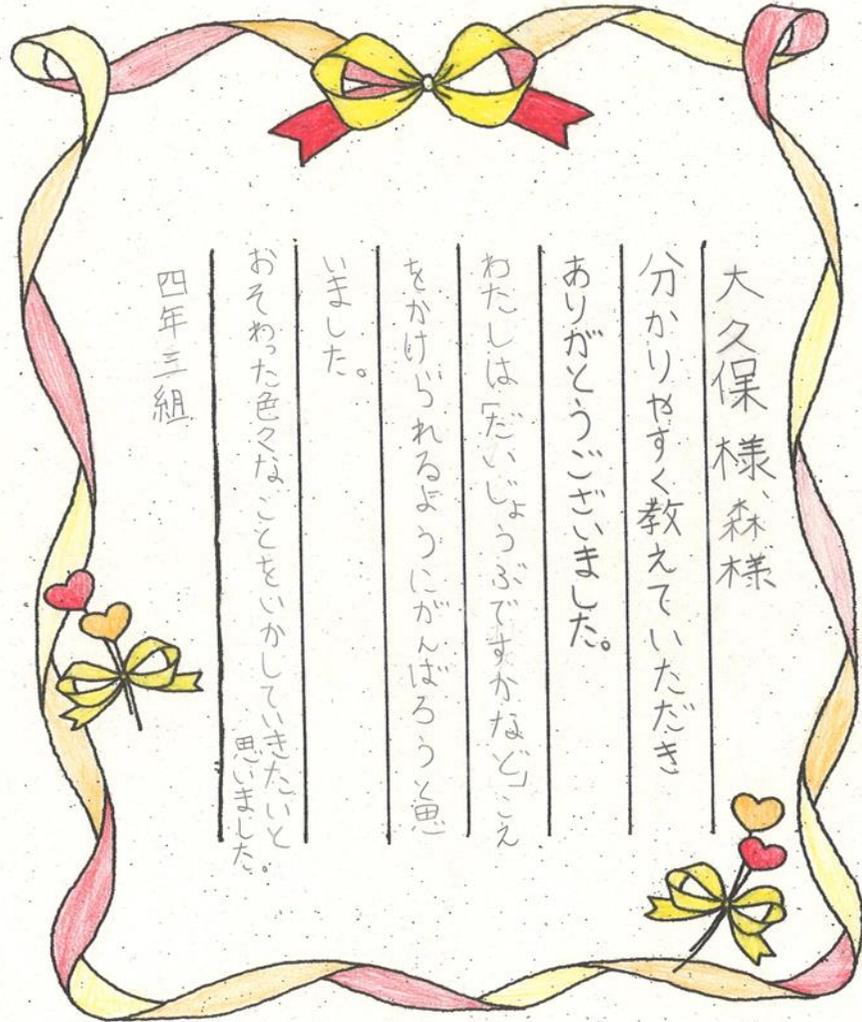
岡部泰成様丸信岳様へ
今回はお時間でお時間でお時間を教えていただきありがとうございます。
また、透析について知る機会ができました。透析を
している時間が多く、自分の好きなことを仕事か、つうのようにな
と知りました。あと、じんをうきくしても100%ゼロ治療
ではないと分かりました。他にも動脈と静脈をつけたのは
シャントといひ、岡部さんのシャントをさわって、毎秒に
すいじり量の血が流れているのが、分かりました。これから
私はヘルプマークをつけた人がいたら助けたいと回ります。

中央林間小学校 四年二組



岡部泰成様丸信岳様へ
今回、おいそがしい中来てくださりま
まことにありがとうございます。
私は透析患者の事じょうも、はじめ
て、知りました。
これから私は、福祉の事も、もつと
学ぶので、もっといろんな事を知ろうと
思っています。4-2より





四年三組

おそろった色々なことをいかしていきたく
思いました。

いま
しました。

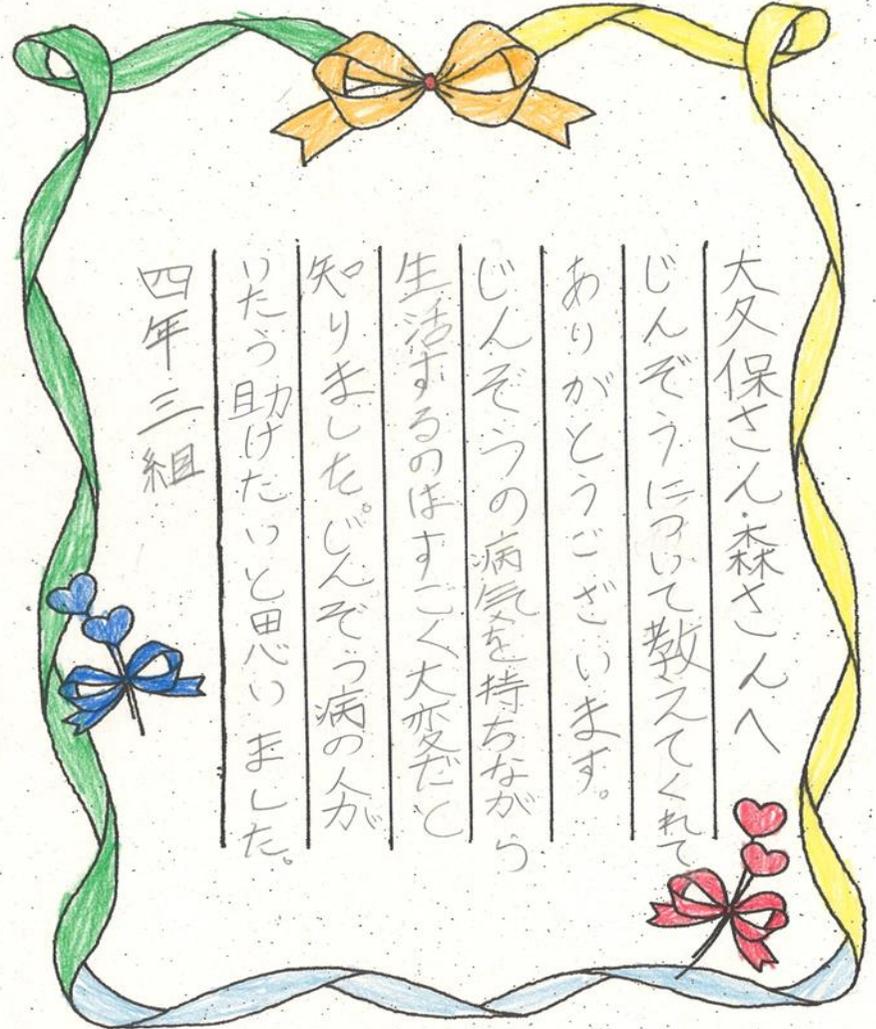
を
かけられるようにがんばろうと
思

わたしは「たいじょうぶですかね」と
こ

ありがとうございました。

分かりやすく教えていただき

大久保様、森様



四年三組

いたう助けたいと思ひました。

知りました。じんぞう病の人が

生活するのほすこく大変だと

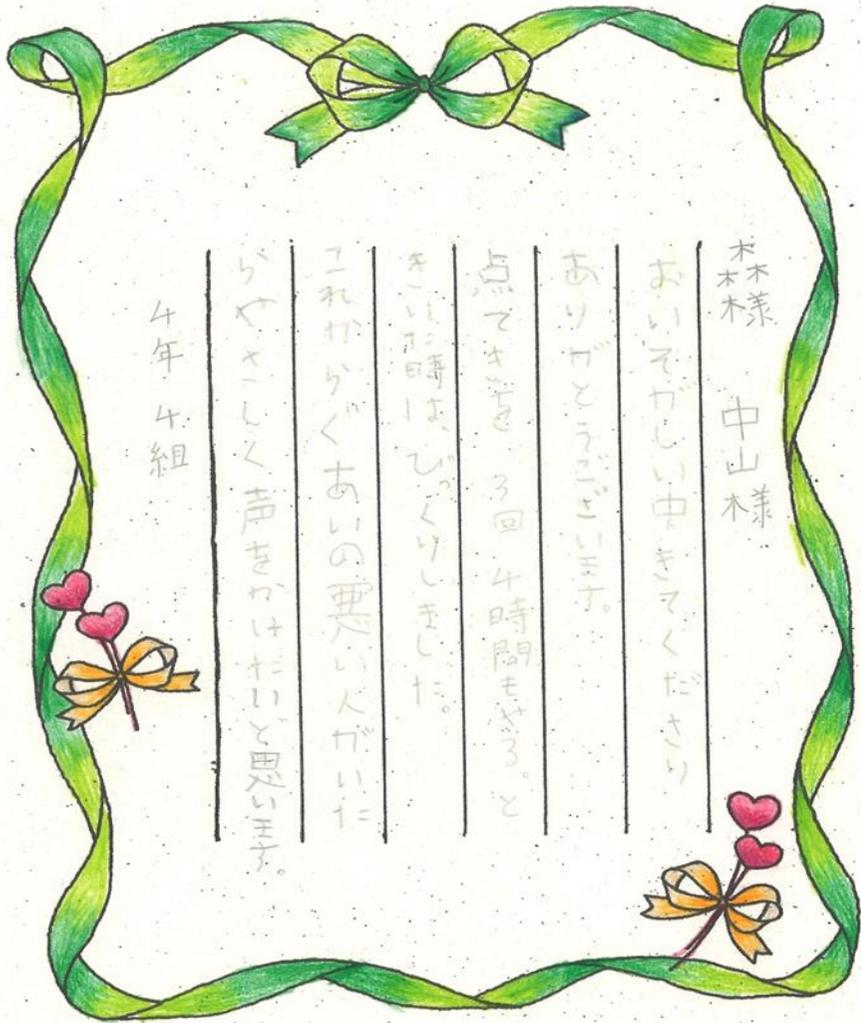
じんぞうの病気をもちながら

ありがとうございます。

じんぞうについて教えてくれて

大久保さん、森さんへ





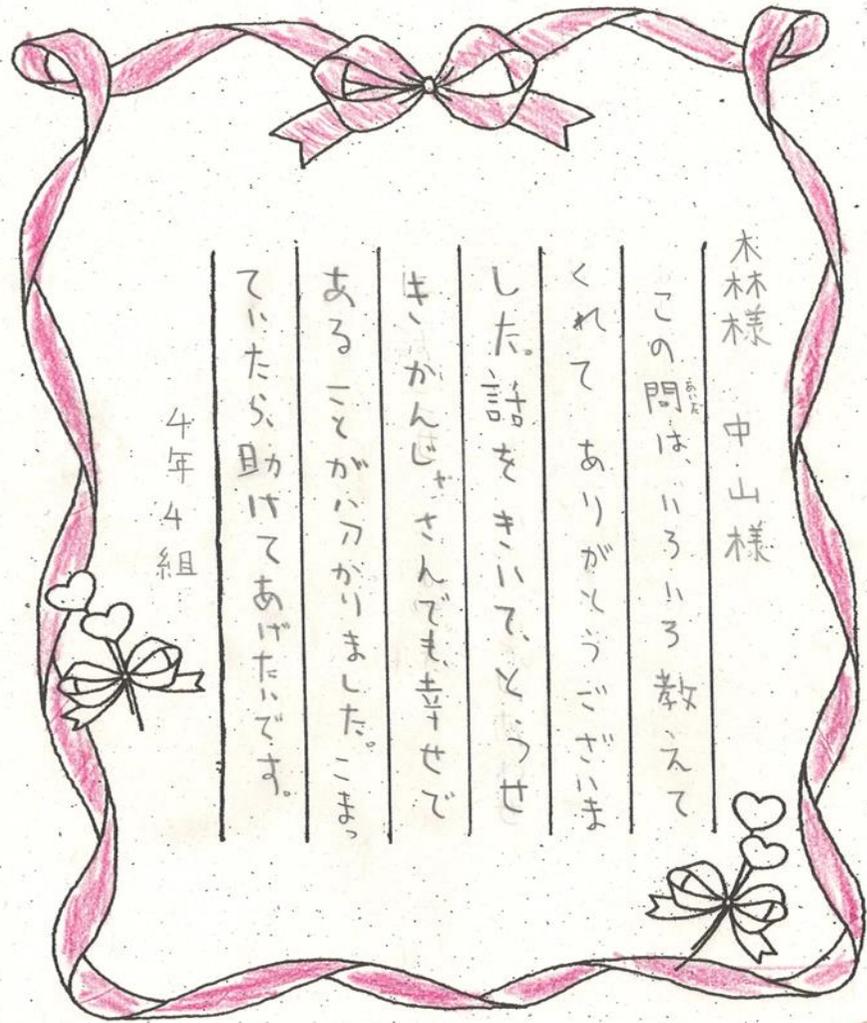
4年4組

ホホ菜
ホホ木

中山様



中山



4年4組

ホホ菜
ホホ木

中山様



中山